

SEIKO

ラジオつきデジタルクロック

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロックをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますよう
お願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

特 長

- 標準電波を受信して現在時刻・日付を表示する、電波修正機能つき。（日本国内対応）
- 東西電波（福島・九州）を自動選局
- ラジオつき（AM/FM/TV1～3ch）
ラジオをアラーム音としてもお使いいただけます。
- 手動発電機能つき（手回しによるダイナモ発電）
手動発電により電池が切れた場合でも内蔵の充電池へ充電することができます。
- 携帯電話充電機能つき
手動発電により携帯電話へも充電が可能です。
- 非常用ブザー、白色LEDライト（懐中電灯）つき

- ・アラームを一度止めても約5分後に再び鳴り出すスヌーズ機能つき
 - ・LEDバックライトつき
- ※電波を受信できない場合でも、クォーツ時計としてお使いいただけます。

電波クロックについて



■電波時計／電波修正機能とは

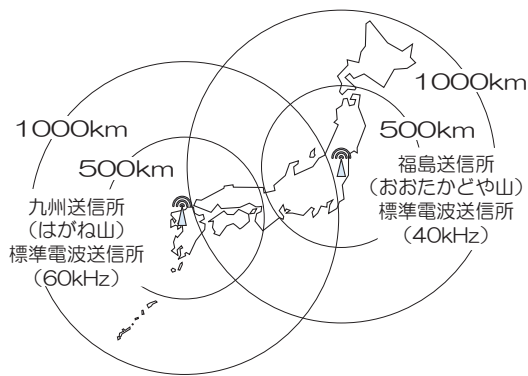
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。（お客様センターにお問い合わせください。）
(ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>)

■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。



保証・アフターサービス



- この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりしメーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただきますことでもありますので、ご了承ください。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただきます。修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

製品仕様



【電源】

- 時計 : 単3アルカリ乾電池（JIS規格LR6）2個
- ラジオ/LEDライト : 以下3通りの電源をご使用いただけます。
非常用ブザー ①単3アルカリ乾電池（JIS規格LR6）2個
②充電電池（内蔵ニッケル水素電池）
③別売りのACアダプター

【電池寿命】 乾電池のみで下記機能を単独で使用した場合

- 時計 : 約3年
 - ラジオ : 約35時間（音量最大の場合）
 - LEDライト : 約45時間
 - 非常用ブザー : 約15時間
- ※LEDライトと非常用ブザーを併用して使用した場合は約12時間

【時計】

- 時間精度 : 平均月差±30秒（気温5℃から35℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
- 表示精度 : ±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
- 使用温度範囲 : -10℃～+50℃
ただし、表示判読可能温度範囲 0℃～+40℃
- アラーム : 「電子音」と「ラジオ」の切替式、約5分間オートストップ、約5分間スヌーズ（スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
- カレンダー : 2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー。月末、うるう年とも修正不要。
- 表示 : 日付（月/日、曜日）、午前/午後表示による12時間制または24時間制表示
- 電波受信機能 : 自動受信（午前2時から3時間ごと。次回の受信までクォーツの精度で動いています。）
手動受信

【ラジオ】

- 受信周波数 : AM : 525～1605kHz
FM : 76～108 (TV1～3ch) MHz
- 受信アンテナ : AM : フェライトバーアンテナ内蔵
FM : ロッドアンテナ
- スピーカー : 直径36mm丸型、8Ω 1個

※地上アナログテレビ放送は地上デジタルテレビ放送へ移行するため、2011年7月24日までに終了します。アナログテレビ放送終了後は本製品ではテレビの音声を聞くことはできません。

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

⚠ 警告

＜アルカリ電池について＞

- (1) ショート、充電、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注意

＜乾電池について＞

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) ⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) 充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
- (5) 直射日光・高温・高温の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
- (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

＜液晶パネルについて＞

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。

万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- (1) 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- (2) 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- (3) 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

＜LEDライトについて＞

LEDライトを直視したり、目に向けて照らさないでください。目を傷める恐れがあります。

＜非常用ブザーについて＞

非常に大きなブザー音が鳴ります。

- ・ 耳の近くでのご使用はお避けください。
- ・ 近隣の方々へのご迷惑にならないようご注意ください。

電池が切れる直前になると、ブザー音が正常にならなくなることがありますので、その際は一旦電池をはずし、すべての電池を新品電池とのお取り替えください。

＜使用場所について＞

下記のような場所では使わないでください。

製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。



暑い場所（+50℃以上）

- 温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。



寒い場所（-10℃以下）

- 温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
〔プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。〕



振動の激しい場所

- 塵、埃の多い所。
〔空気中に舞上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。〕

- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
〔磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まること〕があります。



湿気の多い場所

- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

- 振動のある所。不安定な所。

- 工場、台所など多くの油を使用する所。
〔霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まること〕があります。

- ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

- 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガシが起きる場合があります。

- 電波ノイズを発生させるものの近く。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など電波障害の起きる所。
乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。

＜お手入れについて＞

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

- 枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾かしてください。

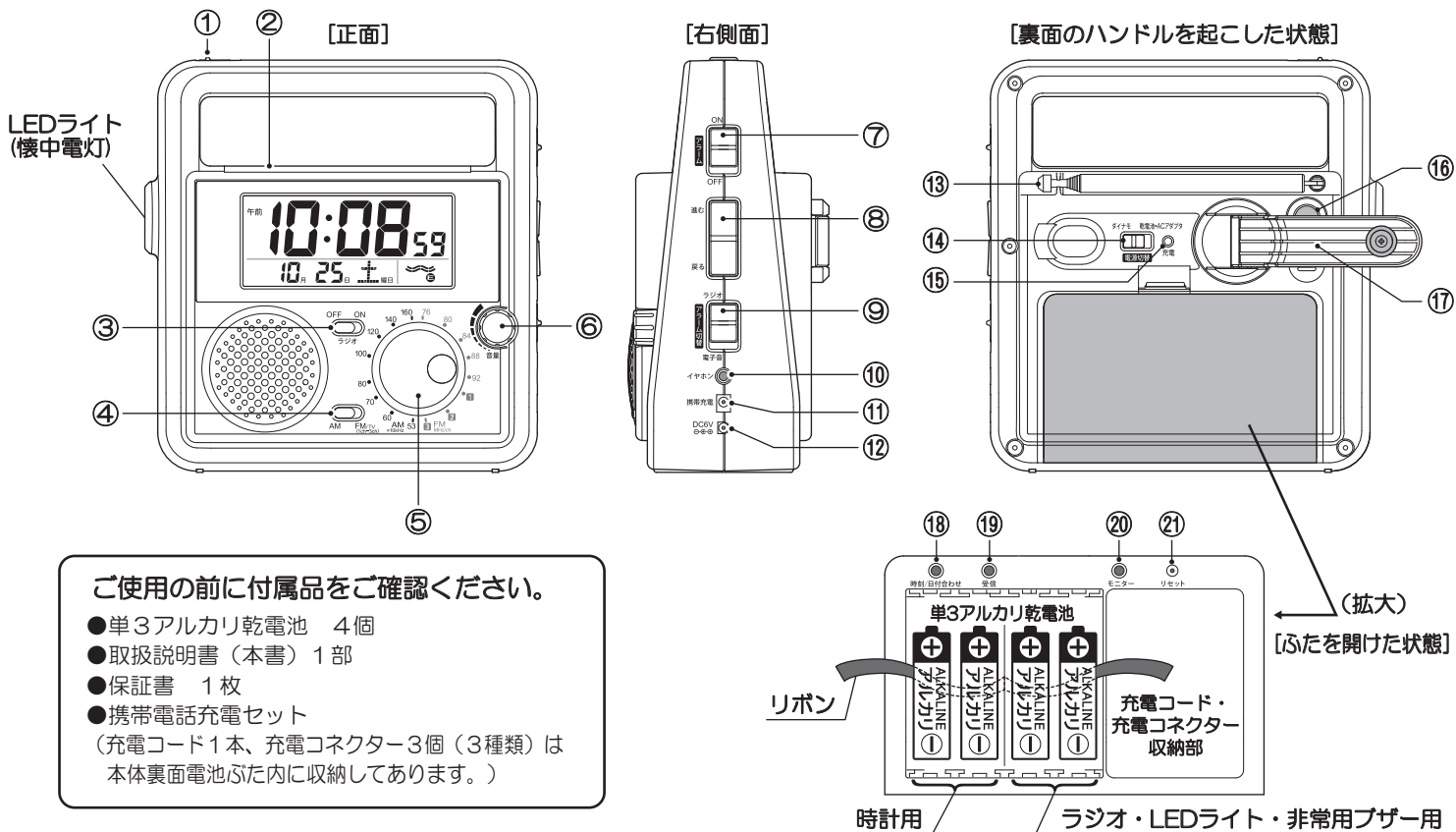
※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れが大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

＜液晶パネルについて＞

- 透明シールをはがしたときに液晶パネル面がしばらく黒くなる場合があります。
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。

■各部の名称

(時計により外観が異なりますが、操作方法は同じです。)



ご使用前に付属品をご確認ください。

- 単3アルカリ乾電池 4個
- 取扱説明書(本書) 1部
- 保証書 1枚
- 携帯電話充電セット
(充電コード1本、充電コネクタ3個(3種類)は
本体裏面電池ふた内に収納してあります。)

① ライトスイッチ

・LEDライトON/OFFの切り替えができます。

② スヌーズボタン

・アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が効き、約5分後に再びアラームが鳴ります。
・押すとバックライトが点灯し、ボタンを放してから約5秒間点灯します。

③ ラジオスイッチ

・ラジオON/OFFの切り替えができます。

④ ラジオバンド切替スイッチ

・AM放送とFM(TV1~3ch)放送の受信を切り替えます。

⑤ チューニングつまみ

・放送局を選ぶときに使用します。

⑥ ラジオ音量調節つまみ

・ラジオの音量を調節するときに使用します。

⑦ アラームスイッチ

・アラームON/OFFの切り替えができます。

⑧ 進むボタン/戻るボタン

・アラーム時刻または現在時刻や日付を合わせるときに使用します。

⑨ アラーム音切替スイッチ

・アラーム音の切り替え(ラジオ⇄電子音)ができます。

⑩ イヤホンジャック

・イヤホン(ミニプラグ)の差し込み口です。
※モノラル出力です。

⑪ 携帯電話充電ジャック

・携帯電話充電コードの差し込み口です。

⑫ DCジャック

・別売りのACアダプター(品番:ZZ260)の差し込み口です。

⑬ FM用アンテナ

・FMラジオを受信する際は出来るだけ伸ばし、最も良く受信できる向きに合わせてください。

⑭ 電源切替スイッチ

・「乾電池・ACアダプタ」と「ダイナモ(手動発電による充電機)」を切り替えます。

⑮ 発電ランプ

・手動発電機(ダイナモ)が発電しているときに点灯します。

⑯ 非常用ブザーボタン

・非常用ブザーON/OFFの切り替えができます。

⑰ ハンドル

・手動発電機(ダイナモ)を発電させる際に使用します。

⑱ 時刻/日付合わせボタン

・手で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。(2秒以上押し続けてください)

⑲ 受信ボタン

・通常表示のときに押すと標準電波の受信を開始します。
・受信中に押すと、受信を中止します。

⑳ モニターボタン

・押し続けている間、アラーム音(ラジオまたは電子音)が鳴り続けます。

㉑ リセットボタン

・初期設定を行います。
・電池交換後は先端の細いもので必ず押しつけてください。

■通常表示(通常ご使用になるときの液晶表示)

現在時刻(時・分・秒)

日付を合わせる際は年表示と切り替わります。



アラームマーク

「アラームスイッチ」が「ON」のとき表示されます。

月/日、アラーム時刻

「アラームスイッチ」が「OFF」のとき日付を表示し、「ON」のときアラーム時刻を表示します。

曜日

受信マーク

24時間以内に電波の受信が成功しているときに表示されます。受信中は点滅します。

●12/24時間制表示の選択



時刻の表示方法を切り替えるときは、P.5「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12時間制または24時間制表示を選んでください。

(受信マーク が表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マークは表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。)

電源について

本製品の「時計」以外の「ラジオ」「LEDライト」「非常用ブザー」は下記3通りの電源をご使用いただけます。ご使用になる電源にあわせて、「⑭電源切替スイッチ」を選択してください。

●「時計」の電源は乾電池のみです。ACアダプターや充電電池では駆動しません。

機能	ご使用になる電源	「⑭電源切替スイッチ」の位置	説明
「ラジオ」 「LEDライト」 「非常用ブザー」	1. 乾電池 2. ACアダプター	「乾電池・ACアダプタ」 	単3アルカリ乾電池2本を使用します。 別売りのACアダプター（品番：ZZ260）をお使いください。 ※乾電池とACアダプターが併用されている場合には、ACアダプターが優先されます。
	3. 充電電池	「ダイナモ」 	本体内蔵の充電電池を使用します。 P.6「■内蔵充電電池へ充電する」にしたがってハンドルを回し、充電電池を充電してください。

また、本製品は緊急時に携帯電話に内蔵されている充電電池を充電する機能があります。詳しくはP.6「■携帯電話を充電する」をご覧ください。

- 携帯電話への充電は携帯電話専用の充電器がご使用になれない場合のみお使いください。
- 本製品使用により携帯電話の故障またはデータの破損・消去などの障害が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

ご使用方法

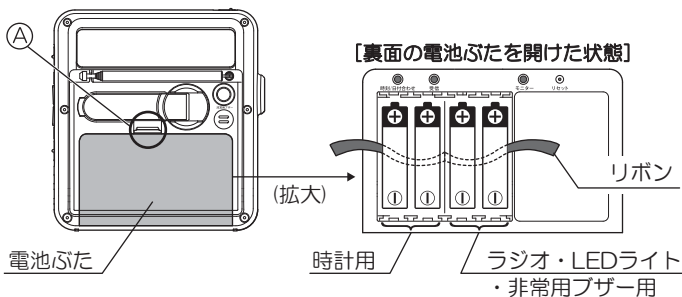
ご使用前に表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。
(このとき静電気により黒い線・しみなどが発生することがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。)

1. 電源切替スイッチを切り替えてください

裏面のハンドルを上げて「⑭電源切替スイッチ」を「乾電池・ACアダプタ」に切り替え、ハンドルを元に戻してください。
●通常は「乾電池・ACアダプタ」の位置でご使用ください。

2. 電池を入れてください(単3アルカリ乾電池 4個)

裏面の(A)部に指をかけ、手前に引いて電池ぶたを開けてください。
⊕ ⊖ をまちがえないように注意してください。




※電池を入れる際は、電池の下にリボンを敷いてください。リボンを引き張ると簡単に電池がはずれます。ただし、勢いよく引っ張ると電池が飛び出ることがありますのでご注意ください。

3. リセットボタンを先端の細いもので押してください


「⑳リセットボタン」を先端の細いもので押してください。表示が全てついた後、時刻「午前12:00」となり、標準電波の受信を開始します。

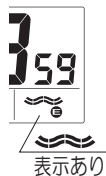
注) 電池交換後は、必ず「㉑リセットボタン」を押してください。

4. 時計を設置してください


本機を使用したい場所に置いてください。
(窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。)
●受信中は、Ⓜマーク(またはⓂマーク)が点滅し、受信マークが受信状態に応じて変化します。
●受信に要する時間は最長約20分間です。

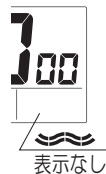
【受信成功】

受信マークが表示され、[月/日] [曜日] [時:分] [秒] が正しい日付と時刻に修正されます。
●Ⓜを表示: 福島送信所からの電波を受信
●Ⓜを表示: 九州送信所からの電波を受信
●受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。




【受信できない】

受信マークは表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。P.5「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
●使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。



5. アラームを鳴らすには

- 「⑧進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
 - 「⑧進むボタン/戻るボタン」を押すと日付がアラーム時刻に切り替わって点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。
 - アラーム時刻合わせの状態再度「⑧進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送りします。
 - 約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し[通常表示]に切り替わります。
- 「⑦アラームスイッチ」をONにしてください。アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
 - アラームマークが表示されます。
 - 日付がアラーム時刻に切り替わります。



6. アラーム音を選択する

「㉑アラーム音切替スイッチ」で「電子音」または「ラジオ」を選択してください。


7. ラジオの音量を調節する

アラーム音で「ラジオ」を選択した場合は、「③ラジオスイッチ」をONにして「⑥ラジオ音量調節つまみ」でラジオの音量を調節し、「③ラジオスイッチ」をOFFにしてください。
※「電子音」を選択した場合、音量は固定です。「⑥ラジオ音量調節つまみ」を回しても電子音の音量は変わりません。


8. アラームを止めるには


アラームを止めるには2通りの方法があります。

【アラームを完全に止める】

「⑦アラームスイッチ」をOFFにして止めます。
●アラームマークが消えます。

【約5分後に再度アラームを鳴らす(スヌーズ機能)】

「②スヌーズボタン」を押すとアラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。
●スヌーズ中はアラームマークが点滅します。
●スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。


アラームは約5分間で自動的に止まります。(オートストップ機能)
この場合、アラームマークは表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

■ 自動受信について

午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■ 電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ、時刻、日付を合わせる

- 「⑨受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
- 受信状態については、P.4「■ご使用方法」をご覧ください。
 - うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。ご使用中に受信マーク  が表示されない場合は使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
 - 詳しくはP.1 電波クロックについて をご覧ください。
- 夜間は昼間にくらべて受信状態が悪くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。

- ① 「⑩時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。[年合わせ表示] に切替わります。
- ② 「⑩時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
- ③ 「⑧進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
 - 「⑧進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
 - 約5分以上「⑧進むボタン/戻るボタン」や「⑩時刻/日付合わせボタン」が押されなかった場合は、自動的に[通常表示]に切り替わります。時刻や日付は[通常表示]に切り替わる直前の表示です。



【通常表示】
普段はこの表示でお使いください。



【年 合わせ表示】
「⑧進むボタン/戻るボタン」で年を合わせてください。
年は2000年～2099年まで合わせられます。また、曜日は自動的に修正されます。



【月/日 合わせ表示】
「⑧進むボタン/戻るボタン」で日付を合わせてください。
曜日は自動的に修正されます。



【時刻 合わせ表示】
「⑧進むボタン/戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「⑧進むボタン/戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。



【12/24時間制選択表示】
「⑧進むボタン/戻るボタン」で12時間制または24時間制を選んでください。

- ④ 12時間制/24時間制選択が終了しましたら、「⑩時刻/日付合わせボタン」を押して[通常表示]に切り替えてください。

■ ACアダプター（別売り）のご使用について

別売りのACアダプター（品番ZZ260）を電池の代わりに使用することができます。

- ①本体のDCジャックにACアダプターの出力端子を接続してください。
- ②ACアダプターのプラグをAC100Vコンセントに接続してください。

- 必ず指定のACアダプターをご使用ください。
- ACアダプターを使用できるのは「ラジオ」「LEDライト」「非常用ブザー」のみです。「時計」はACアダプターでは駆動しません。

■ 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。

（誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。）

- ① 「⑨受信ボタン」を、“OFF”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。
- ② 左記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
 - この機能を設定した後も「⑨受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
 - この機能を解除するには、「⑨受信ボタン」を、“ON”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

■ 試し鳴らし（モニター）について

「⑩モニターボタン」を押し続けている間、時刻に関係なく「⑨アラーム音切替スイッチ」で選択されたアラーム音が鳴り続けます。

- 「⑨アラーム音切替スイッチ」が「ラジオ」のときはラジオが、「電子音」のときは電子音が鳴ります。

■ バックライトについて

「⑫スヌーズボタン」を押すとバックライトが点灯し、ボタンを放してから約5秒間点灯します。

■ ご注意

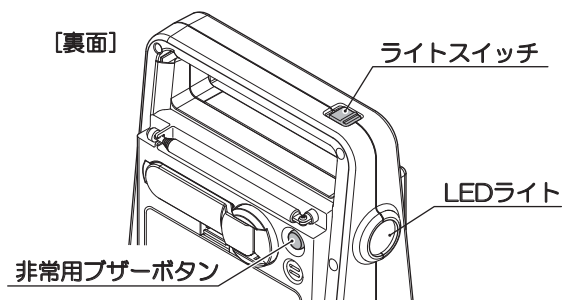
- この製品には、マイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。「⑭リセットボタン」を押してください。
- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ず「⑭リセットボタン」を押してください。

LEDライトを使用する ▶

「①ライトスイッチ」を「ON」にするとLEDライトが点灯します。



LEDライトを直視したり、目に向けて照らさないでください。目を傷める恐れがあります。



非常用ブザーを使用する ▶

「⑩非常用ブザーボタン」を押すとブザーが鳴ります。もう一度押すとブザーが止まります。

- 非常用ブザーの音量は調節できません。

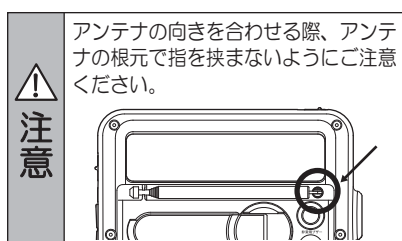
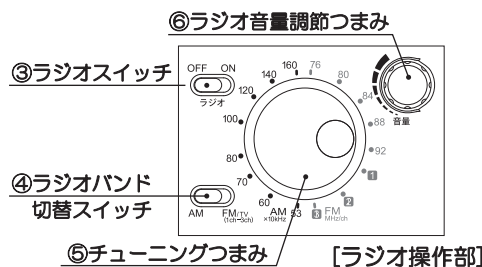


非常に大きなブザー音が鳴ります。
・耳の近くでのご使用はお避けください。
・近隣の方々へのご迷惑にならないようご注意ください。
電池が切れる直前になると、ブザー音が正常に鳴らなくなることがありますので、その際は一旦電池をはずし、すべての電池を新品電池とお取り替えください。

ラジオを聴く ▶

AM放送/FM (TV1~3ch) 放送を聴くことができます

1. 電源を入れる
「③ラジオスイッチ」を「ON」に切り替え、ラジオの電源を入れてください。
2. AM放送/FM (TV1~3ch) 放送を選択する
「④ラジオバンド切替スイッチ」でAM放送/FM (TV1~3ch) 放送を選択してください。
3. 放送局を合わせる
「⑤チューニングつまみ」で聴きたい放送局に合わせてください。



※地上アナログテレビ放送は地上デジタルテレビ放送へ移行するため、2011年7月24日までに終了します。アナログテレビ放送終了後は本製品ではテレビの音声を聞くことはできません。

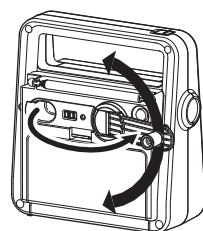
4. 音量を調節する
「⑥ラジオ音量調節つまみ」で音量を調節してください。
※「③ラジオスイッチ」がONになっていると、音量を最小にしてもラジオを受信しています。電池消耗の原因となりますので、ラジオを使わないときには、「③ラジオスイッチ」をOFFにしてラジオの電源を切ってください。
●LEDライトや非常用ブザーをお使いになる場合は、ラジオを併用して使用することはできません。

- 良い受信状態で聴くには
【AM放送の場合】AM用アンテナは内蔵していますので、本体を最も良く受信できる方向に向けてください。
【FM (TV1~3ch) 放送の場合】
「⑬FM用アンテナ」を伸ばし、アンテナを最も良く受信できる方向に向けてください。
- イヤホンで聴くには
市販のイヤホン (ミニプラグ) を「⑩イヤホンジャック」に接続することでラジオを聴くことができます。

内蔵充電電池へ充電する ▶

ハンドルを回すことにより内蔵の充電電池に充電することができます

1. ハンドルを引き起こす
「⑬FM用アンテナ」を収納状態にして、ハンドルを引き起こしてください。
2. ハンドルを回す
ハンドルを回すと、「⑭電源切替スイッチ」の位置にかかわらず内蔵の充電電池に充電されます。
片方の手で本体の取っ手をしっかりと握り、もう片方の手でハンドルのつまみ部分を握ってハンドルを回してください。
発電中はしっかりと本体を押さえてください。
回し始めはゆっくりと、そのあと1秒間に2回転のペースでハンドルを回転させてください。



どちらか一方にハンドルを回す

■持続時間の目安

(ハンドルを1秒に2回転のペースで約2分間回したあと、下記機能を単独で動作させた場合)

機能	持続時間
ラジオ	約20分以上 (音量最大の場合)
LEDライト	約25分以上
非常用ブザー	約10分以上

※LEDライトと非常用ブザーを併用した場合の持続時間は約8分以上です。
※持続時間は内蔵充電電池の状態により異なります。

- 「⑪携帯電話充電ジャック」に充電コードを接続している場合は、内蔵の充電電池へは充電されません。
- 発電中は「⑮発電ランプ」が点灯します。
- ハンドルに負荷がかかるため、ハンドルは一方方向に回してください。
- ハンドルへ無理な力をかけると破損する場合がありますのでご注意ください。
- 充電電池が空の状態からフル充電されるまでは約60分を要します。それ以上の充電は、充電電池に負担がかかり故障の原因となりますのでおやめください。

注意

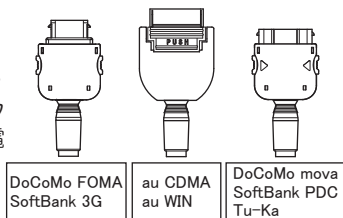
- ・ハンドルの回転は指定のペース (1秒間に2回転) を守ってください。速く回し過ぎると過電流が流れ、本体の故障など障害が発生する場合があります。
- ・ハンドルを回す際は、手を挟んだり傷めないように十分にご注意ください。

携帯電話を充電する ▶

携帯電話へ充電することができます

NTTドコモ、au、ソフトバンクなどの携帯電話へ充電することができます。

1. 携帯電話充電セットを取り出す
裏面の電池ふたを開け、携帯電話充電セット (充電コード1本、充電コネクタ3個 (3種類)) を取り出してください。
2. 携帯電話に対応した充電コネクタを選択する
お使いの携帯電話の充電コネクタ差し込み口に適合した充電コネクタを選んでください。
3. 携帯電話の電源を切る
携帯電話の電源を「OFF」にします。
4. 充電コネクタ・充電コードを接続する
充電コネクタに充電コードを接続し、充電コードのもう一端を本体の「⑩携帯電話充電ジャック」に接続します。
5. 携帯電話に接続する
携帯電話へ充電コネクタを接続します。
6. ハンドルを引き起こす
「⑬FM用アンテナ」を収納状態にして、ハンドルを引き起こしてください。



7. ハンドルを回す
片方の手で本体の取っ手をしっかりと握り、もう片方の手でハンドルのつまみ部分を握ってハンドルを回してください。
発電中はしっかりと本体を押さえてください。
回し始めはゆっくりと、そのあと1秒間に2回転のペースでハンドルを回転させてください。
- 充電が終わったら、携帯電話および本体から充電コネクタ・充電コードを取り外してください。
 - 携帯電話への充電は携帯電話専用の充電器がご使用になれない場合のみお使いください。
 - 完全に放電しきった携帯電話への充電はできません。

■持続時間の目安

(ハンドルを1秒に2回転のペースで約2分間回したあと、下記機能を単独で動作させた場合)

機能	持続時間
待ち受け	約30分
通話	約1分

※持続時間は機種および携帯電話内蔵電池の状態により異なります。

注意

- ・ハンドルの回転は指定のペース (1秒間に2回転) を守ってください。速く回し過ぎると過電流が流れ、機器の故障など障害が発生する場合があります。
- ・携帯電話の充電状況は、携帯電話のインジケータをご参照ください。必要以上に充電すると携帯電話に負担がかかり故障の原因となりますのでご注意ください。

・本製品使用により携帯電話の故障またはデータの破損・消去などの障害が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

故障かなと思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
表示が出ない	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・電池が正しい向きで入っていない。 ・きちんとリセットされていない。	・電池を正しく入れ直して、確実に「リセットボタン」を押してください。
液晶表示が欠けている	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・きちんとリセットされていない。 ・静電気等による誤動作。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信に成功していない。	・P.5「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・きちんとリセットされていない。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
ラジオが鳴らない ライトが点灯しない 非常用ブザーが鳴らない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて「リセットボタン」を押してください。
	・充電電池の電圧が低下している。	・ハンドルを回し、内蔵の充電電池を充電してください。
携帯電話が充電できない	・充電コネクターの形状が合っていない。	・携帯電話の充電コネクタ-差し込み口に適合した充電コネクタ-をご使用ください。
	・携帯電話の充電電池が放電しきっている。	・完全に放電しきった携帯電話への充電はできません。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例：AM0000、PW0000、KR0000など)

フリーダイヤル
お客様センター  0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社